


8/23開催の駒岡地区における義務教育学校説明会でのご質問・ご意見への回答

NO	主な質問・意見の概要	回答
1	通学するバスが1時間に1本しかなく、現実的には親の送り迎えが必要な状況であることからスクールバスを導入してほしい。	札幌市では、徒歩通学の目安として、小学校では概ね2km、中学校では概ね3kmとしており、それを超える場合は公共交通機関を活用した通学を原則としています。通学するバスの本数が少ないため送り迎えが必要な状況とのことですが、学校と連携して極力通学に支障が出ないように配慮してまいります。
2	駒岡小学校卒業後に義務教育学校に入学することに不安があるが、大丈夫なのか。不安にならないような対策をしてほしい（類似意見他3件）。	学習面については、学年をまたがる指導内容の入替えは行わないため、学習できない内容が生じることありません。今までも駒岡小学校から真駒内中学校に入学する際には、丁寧な引継が行われており、義務教育学校になっても引き続き丁寧に引継をしていきたいと考えております。また、駒岡小学校と桜山小学校と真駒内中学校は小中一貫した教育のパートナー校として現在活動しており、2学期初めには駒岡小学校の教諭と児童が真駒内中学校の授業を体験するなど、パートナー校間における交流も進んでいます。加えて、過去に統合した常盤小学校と石山東小学校では、統合前に何度か合同で授業を行ったり、宿泊学習を合同で実施したりするなどの取組を行った例もあり、こうした事例も参考にしたいと考えております。義務教育学校の学校づくりにあたっては、駒岡小学校の校長先生にも参加いただくことを予定しており、駒岡小学校を卒業する児童が不安なく進学できるよう取り組んでまいりたいと考えております。
3	小学校段階からの義務教育学校への入学も可能とのことだが、この結果、駒岡小学校に在籍する地域の子供も減ることによって、閉校になる等はないのか。	将来的な特認校制度全体の在り方の議論の可能性を否定できないため、将来的な約束は難しいですが、少なくとも義務教育学校を設置したことによる地域の子どもの在籍者数の減少を直接の理由として、駒岡小学校を閉校することはございません。
4	第二グラウンドが交差点を渡るという点で不安。安全対策をしっかりと取ってほしい（類似意見他1件）。	学校を中心にスクールゾーン実行委員会でも安全確保のための対策を検討したうえで、必要に応じて警察等関係機関に信号等の設置を要望することになります。
5	自分の子どもが中学生になった段階で義務教育学校になる予定だが、制服を買い直す等必要があるのか。	保護者負担に直結する話になりますので、保護者の方のご意見も聞きながら整理することになるものと考えております。

NO	主な質問・意見の概要	回答
6	結局送り迎えが必要なのであれば、直線距離の近い学校に行かせたいと思うが、それは可能なのか。	札幌市では、住所地の通学区に基づき通学する学校を指定しており、原則この指定された学校へ通っていただくことになります。距離のみを理由とする校区外への通学は認められませんが、個々の事情により、指定校以外の学校へ通うことが可能な場合がありますので、教育委員会にご相談ください。
7	義務教育学校の検討状況等を確認する方法は何かあるのか。	義務教育学校の検討状況については、以下HPで公開することを考えております。 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/gimugakko/makomanai.html 
8	桜山小学校から駒岡地区に戻ってくるバス停が周りに何もなく、夜は暗く、安全性が心配である。	学校を中心にスクールゾーン実行委員会でも安全確保のための対策を検討し、関係機関に対策を働きかけるとともに、学校における安全指導を行うことなどにより、通学時における子どもたちの安全確保に取り組んでまいります。
9	コロナを理由に説明会を開催せず、既に義務教育学校関係の予算を措置してから説明会をしていることに不信感を覚える。住民理解を得てから実施することが妥当であるため、今からでも中断すべきと考えるがどうか。	説明会が遅れたことについては大変申し訳ございません。本来の説明会は昨年度の5月に予定をしていましたが、コロナの影響で延期せざるを得ず、2月にも実施を予定しましたが、これも再延期となってしまいました。その代わりHPでご意見をいただく形を取らせていただきました。 感染状況が落ち着いてきた本年の4月から真駒内地区で3回の説明会を開催させていただき、本日も駒岡地域で説明会を開催させていただいたところです。 今後についても適宜地域の皆様に情報提供を行うとともに、学校づくりに向けたご意見も頂戴して、より良い学校づくりを進めてまいりたいと考えております。 予算については、市民の代表である市議会を通して決定しており、本件については、駅前再開発のスケジュールとの兼ね合いもありますことから、予定通り進めてまいりたいと考えております。

NO	主な質問・意見の概要	回答
10	きめ細かな対応は小規模の学校でこそ実現でき、大規模な学校では難しいと考える。大規模校には弊害の方が大きいと思うがどうか。	義務教育学校においては、9年間継続して教育活動を行うことで、きめ細かな対応ができると考えております。 また、国の基準では義務教育学校の適正規模は18学級以上27学級以下とされており、この範囲内であれば、義務教育学校として十分に機能するものと考えております。 加えて、同程度の規模の京都市の義務教育学校において、義務教育学校の効果と規模によるデメリットがないことを確認しておりますので、より良い学校づくりは可能と考えております
11	説明会は今後も開催されるのか。	地域のご要望があれば説明会については開催させていただきたいと考えております。一方で、今回の内容については、既に真駒内地区でも3回開催し、駒岡地区においても案内を全戸配布して実施していることから、改めて説明会を実施するとすれば、違う内容での説明会を想定したいと考えております。いずれにしても、ご要望がある場合は町内会長さんに伝えていただければと思います。
12	今回の住民の意見を踏まえて、より良い義務教育学校にしてほしい。	我々としても、皆さんのご意見も踏まえて、よりよい学校としたいと考えておりますので引き続きよろしくお願いたします。